

△秋の國資本主義と昇の事象

上である。
秋の國資本主義と昇の事象
生産高の増加の傾向にある
又合資資本金は増加の傾向あり
よこかこ此の上昇の中に生産力と市場との矛盾がある。その現れは生産制限の事象、輸出貿易の不振、金の輸出禁止などである。

我國無産階級運動最近の情勢

金融恐慌前後を通じて現はれたる我國無産階級運動の情勢は水刃如しである。組織状態——若くはの卒を低下したが一面的整理の進行するを見る。これか原因は資本の極度の攻勢と、地の結果として大工端に及ぶ組織運動の衰退に求めう。ことか出来る。かくここの場合は産業別整理による自己防衛の途

を模つてある。こゝに組合の地域的傾向乃至

は整理の進捗しはしのは組合の分裂的傾向に
—— 禍されたるからである。従つて産業別整理の進行も如きも尚限られたる範圍のものである。

① 金融の傾向——昨年一九二〇年以來、我が組合運動は手帳の衰退をつつたが、一九二七年はこの衰退せるが厚層に更に最度の猛烈を加へたかの總がめえ。加之金融恐慌を通じて資本の攻勢は前面して殆んど必然的關係を成した。資本の攻勢が既に統一の意識をあることは好花して、組合の意識統一の意識の如くに展開せられた。反債下運動、工代運動の如くまた政老關係への結合の努力の地を之である。② 組織統一と指導精神の離棄——組合の組織状態の急下と意識はたける衰退は資本の攻勢に直

面する大衆とここの戦線統一のために起たせうのは必然である。斯くして戦線統一の要望は高まり、大衆の圧力は次第に此のたために集中せられた。一九二七年度を通じて最も著しい傾向は、戦線統一の傾向の激甚の度を加へ来たことであるが、これと共に、極左と右翼の分裂主義的団体が異端を連つて曝露したつたことである。

指導精神の斗争はかくこ分業主義傾向の排除のためのも事と集中したつた。
③ 組合運動と政治運動——昨年越つたり今日迄は我が新進階級運動の政治闘争の進出の年であつた。金融恐慌、府縣合選、国会選挙などの選挙戦を通じて労働者階級の政治意識は急進に高められた。かくここの高き労働者階級は合資資本主義運動と政治運動の二斗争形態を併

ち階級的に統制ある斗争の統制のありんといふある。
我が同盟隊年度大会はその宣言に於いて、
あるに我國を連つて進行する産業の合理化、
階級協定の傾向を促進するものなりと断つた。
かくここの傾向は一面する我が無産階級のくへり直す。右選票初め分業主義と、極左の異端を排斥して
階級的立場を徹守して、経済的解放と政治的解放に努力することによつて我が無産階級運動、
指導方針を確立する。こととありその方針による未組織者の組織と統一意識であった。その階級の階級は本大会に於いて従来の認識と指導方針に即して、更に具體的なる方針の確立を

結論

△